

1年		2年		3年		4年		修得すべき能力		
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester			
<p>バイオテクノロジーと人類</p>		有機物理化学	生物有機化学	バイオ機器分析	有機合成化学	卒業研究		生命現象を化学のことで理解し、説明したり考えたりできる力を身に付ける。		
		生物化学 I	生物化学 I I					生物を構成する物質とその代謝についての理解。それらの探究方法と利用方法を身に付ける。		
		分子生物学 I		細胞生物学	分子生物学 II			生体調節学概論	生命現象を分子レベルで理解し、説明できる力を身に付ける。	
		遺伝子工学	哺乳動物のバイオテクノロジー	生理学	植物バイオテクノロジー概論			細胞工学	バイオテクノロジーの基本原理を理解し、諸分野における利用方法を身に付ける。	
		発酵学概論	酵素化学	醸造プロセス工学	醸造微生物学				酒類・醸造物を科学的に理解し、生命現象をそれらの生産に応用する力を身に付ける。	
		微生物学 I	微生物学 II	応用微生物学					微生物学が、医学、環境、食品、醸造等、多くの分野に応用されていることを理解し、説明できる力を身に付ける。	
			食品科学概論	食品化学	食品製造学			食品栄養学	食品原料の理化学的的特性や機能の理解を基盤として、加工から品質管理にいたる一連の知識と技術を身に付ける。	
			応用生物統計解析学	食品素材利用学	食品分析・評価論					
			化学・生物学実験 I	化学・生物学実験 II	応用生物科学実験 I			応用生物科学実験 I I	応用生物科学科研究室実験	生命科学を支える化学・生物学の基礎を理解し、基本的な実験手法とデータの解析法及び結果の考察方法を身に付ける。
			基礎化学 I	基礎化学 II				機器分析実践演習A	機器分析実践演習B	
	化学 I	化学 II								
	生物学 I	生物学 II								
	基礎生物学 I	基礎生物学 II								
	地球科学									
	数学 I	数学 II								
他学科間履修科目										
食料生産の将来展望	遺伝学 I	土壌学	植物病理学							
植物学概論	植物生理学									
農業基礎演習	地域資源経済学									
CALL I	CALL II	教養英語 I	教養英語 II	教養英語 III				研究者・技術者として実社会で使える英語およびコミュニケーションの能力を身に付ける。		
基礎英語	科学英語基礎 科学英語	異文化コミュニケーション I	異文化コミュニケーション II	グローバルシチズンシップA グローバルシチズンシップB グローバルシチズンシップC			教養英語 IV			
フレッシュヤーズ・セミナー	コミュニケーション入門	英語プレゼンテーション I	英語プレゼンテーション II							
現代の働く環境		実践英語 I	実践英語 II							
コンピュータリテラシー I	コンピュータリテラシー II									
文学・文化学A 心理学A 社会学B	文学・文化学C 哲学・倫理学A 心理学B 社会学C	文学・文化学A 心理学A 社会学B 総合科目B	文学・文化学C 哲学・倫理学A 心理学B 社会学C 総合科目A 日本国憲法	文学・文化学A 心理学A 社会学B 総合科目B 経済学B	文学・文化学C 哲学・倫理学A 心理学B 社会学C 総合科目A 日本国憲法	文学・文化学A 心理学A 社会学B 総合科目B 経済学B	文学・文化学C 哲学・倫理学A 心理学B 社会学C 総合科目A 日本国憲法	文学・文化学C 哲学・倫理学A 心理学B 社会学C 総合科目A 日本国憲法		
体育実技 I	保健体育	体育実技 II	保健体育					生涯にわたる健康教育、スポーツ実践の基礎理論及び技能を身に付ける。		
食の6次産業化プロフェッサー・レベル1		食の6次産業化プロフェッサー・レベル2共通		食の6次産業化プロフェッサー・レベル2実習			起業・事業創造マネジメント論	食の6次産業化に向け新たなビジネスに携わる能力を身に付ける。		
あきた地域学		あきた地域学アドバンスト						秋田県の実情を知り、その地域が抱える課題を理解し、課題解決に向けたアプローチと解決策の作成を通じてコミュニケーション力、問題解決力、行動力を身に付ける。		